



3年学年だより

発行日：令和4年6月30日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 3

世界を幸せにする第一歩

校長代理 富樫哲一

6月も終わりに近づき、暑い日が多くなってきました。去年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、残念ながら中止となってしまった合唱コンクールですが、今年は7月12日に神奈川県民ホールで実施できそうです。現在、学校では合唱コンクールに向けて、朝、昼、放課後にクラス練習をしている美しい歌声が響いています。

私が中学校の担任をしていた頃の話ですが、合唱コンクールについては少し苦い思い出があります。それは、とにかくどのクラスの担任をしていたときも、合唱コンクール前になるとクラスの雰囲気が必ず一時期、悪くなってしまうのです。原因はほとんどいつも同じです。合唱に対する生徒一人ひとりの考え方が違うことから、クラスで良い合唱をつくりあげようとしているリーダーとその他の生徒が対立してしまうのです。私は担任として毎日のように双方の話を聞き、お互いの気持ちが分かり合えるように通訳というかメッセンジャーとして、走り回っていたことを思い出します。

今思い返してみると、子どもたちの本当に尊敬すべきところは、一度として関係が悪くなったまま合唱コンクールを終えたことはなかったことです。最後にはリーダーもそうではない生徒たちも、双方が納得して自分たちなりの合唱をつくりあげていました。学校行事に向かうことで生じる、こうした「ピンチ」はときにクラスの絆を強くすることを何度も経験させてもらいました。生徒たちには心から感謝しています。

さて、今月はリーダーシップについて皆さんに考えてもらいたいと思います。皆さんはリーダーシップと聞いてどう思いますか。もしかしたら皆さんの中には、「リーダーシップは自分とは関係ない。そういう能力のある人が、グループを率いればいい。」または「できることなら、一生リーダーシップをとらずに生活していきたい」と思っている人もいるかもしれません。

しかし、本来のリーダーシップとはそんなに大げさなものではないと私は思っています。「自分が所属しているグループの人たちが、より良い経験ができるようにお互いがサポートを行っていくこと」がリーダーシップの本質のように思います。例えば、友達と一緒にどこかにご飯を食べに行こうという話になったときに、自分の経験をもとにした理由などを述べながら「この店にしよう！」と提案するというのも立派なリーダーシップです。

別の言い方をすると、リーダーシップとは、「自分と他人の区別をつけないこと」ということもできるでしょう。イメージとしては、自分の枠を取り払い、自分をどんどん広げていって、「自分が所属しているグループはすべて自分」という感じです。そうすれば、「グループで起きていることはすべて他人事ではなく、自分のこととして取り組む」という本来の意味でのリーダーシップを発揮できるのではないのでしょうか。

南高等学校及び南高等学校附属中学校の様々な教育活動の中で、目にし、耳にすることが多いSDG'sの考え方を実践することも、まさに、自分の所属しているグループを「世界全体」まで広げた行動です。それは、皆さん一人ひとりが世界全体に対して発揮するリーダーシップの一つと言えるでしょう。

皆さんが自分なりのリーダーシップを発揮して「世界を幸せにする第一歩」を踏み出すことを期待しています。

本校生徒がご利用いただける「給付制度」および「統合賠償責任保険」のご紹介

【日本スポーツ振興センター災害共済給付制度】※掛金年間460円：学校納入金にて徴収済みです。

授業や部活動、登下校中などの学校管理下で起きた傷病が対象となる制度です。保険診療内にかかった医療費と通院に伴う費用（医療費の1割）が給付されます。詳細は保健室にお問い合わせください。

【日新火災海上保険株式会社 統合賠償責任保険】※掛金年間265円：部活動振興費より徴収済みです。

授業や部活動、校外学習などの学校管理下で、他の生徒または第三者に損害をあたえた場合や、生徒が偶発の事故により学校所有物を損壊させた場合などに補償されます。詳細は担任の先生にお問い合わせください。

最高学年の立派な姿を見せた体育祭

前日からの雨が心配される中でしたが、無事に体育祭が開催されました。今年も中高別開催だったので、3年生は最上級生として1,2年生を引っ張る姿が立派でした。どの種目も白熱した戦いで盛り上がりましたが、特に競技中の応援は、学年関係なく大盛り上がりでした。短い準備期間の中、体育祭のために尽力した実行委員のみなさん、お疲れさまでした。

☆各クラス実行委員のコメント☆

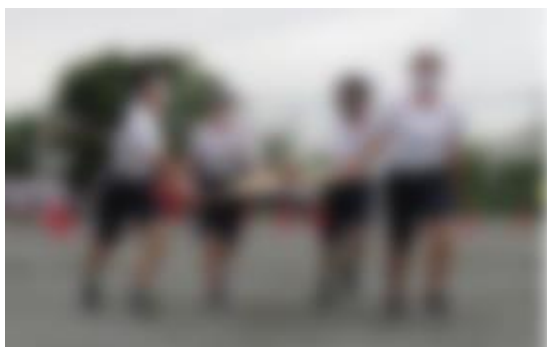
1組

準備はすごく大変でしたが、当日はみんなが楽しそうにしたり、「お疲れ様!」と言ってきてくれて、終わった後の達成感がすごく大きかったです!!自分たちの学年だけではなく、1年生や2年生との交流の場となって、3学年が1つになれたと思います。高校生になったら、今回学んだことも生かしていきたいです。



2組

3年2組は、体育祭を通して協力することの大切さ、楽しさを学んだと思います。体育祭が近づくにつれて練習にも熱が入ってきて、みんなで改善点を出し合ったり、作戦を立てたりしました。本番も1,2年生を巻き込みながら、盛り上げられてよかったです。



3組

今回の体育祭では、練習する時間が少なかったけれども、だんだんみんなの危機感が高まりました。細かいところのアドバイスも聞いてくれて、本番では自己ベストを出せました。3年生最初の行事として良い思い出になったと思います。



4組

3年4組では、積極的に昼休みの練習に行ったり、「ボール運びリレー」の作戦をみんなで考えたりすることができました。そんなみんなの姿に私たち実行委員はとても助けられました!残念ながら優勝することはできなかったけれど、体育祭を通して3年4組の素敵な姿を見ることができて良かったです!

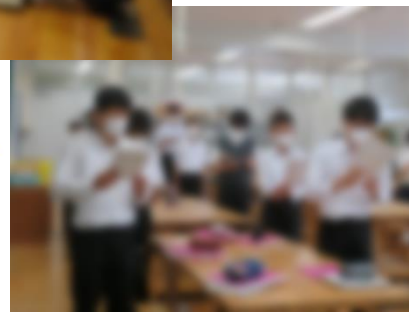


中学校初めての合唱コンクールに向けて

5月に体育祭が終わると、さっそく6月から7月12日(火)に行われる合唱コンクールの練習が始まりました。新型コロナの影響で、9期生にとっては初めての合唱コンクールです。文化委員やパートリーダーを中心に一生懸命練習しています。今までの経験がない分、手探りの状態で練習を進めていますが、9期生たちはようやく行える合唱を楽しんでいます。

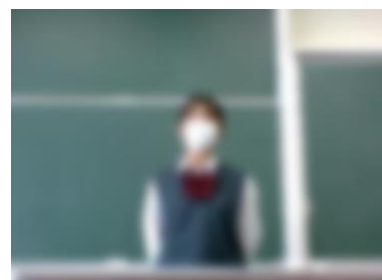
各クラスの合唱曲

1組:「予感」 2組:「遠い日の歌」 3組:「心の中にきらめいて」 4組:「流浪の民」



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 学校代表決定

5月の道徳で、「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマに作文を書きました。参加希望者の中から、学年代表2名が校内選考会に参加しました。2人とも堂々としたスピーチを披露してくれました。校内選考会の結果、1組足利 唯矢さんが、学校代表として、7月4日に行われる港南区審査会に出場します。市の本選出場を目指して、頑張ってください。



水無月の福袋 体育祭からの合唱練習、南高祭展示の部のアイデア検討、そしてEGG卒業研究のアドバイザー面接が同時進行しています。9期生のために時間を割いていただいているアドバイザーの先生方に「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えながら、真剣に耳を傾けている光景はとても爽やかです。ともに声をかけあいながら、行事もEGGも欲張りに頑張る姿は、まさに附属中学校の3年生だなぁ！